

【参考1】沖縄科学技術大学院大学の主任研究者の主な経歴・業績

若手 (※1)	受賞歴(※2)	世界最高峰の学術誌(※3) への論文掲載実績	世界トップ大学(※4) での研究経歴	世界トップ大学(※4) での博士号取得	若手 (※1)	受賞歴(※2)	世界最高峰の学術誌(※3) への論文掲載実績	世界トップ大学(※4) での研究経歴	世界トップ大学(※4) での博士号取得	
1		ネイチャー<3回>	瑞カロリンスカ研究所 英エディンバラ大学		24	●	米国生態学会優秀論文賞	米国科学アカデミー紀要	米カリフォルニア大学サンタバーバラ校	米ワシントン大学
2	●	米国科学アカデミー紀要	米ハーバード大学 米ブラウン大 米ピッツバーグ大学		25	●		フィジカル・レビュー・レターズ	豪メルボルン大学	
3	アルバート・ラスカー基礎医学研究賞、京都賞、キング・ファイサル国際賞、ノーベル生理学・医学賞、国家科学技術賞(シカゴ・ノーベル)	ネイチャー<多数> サイエンス<多数> 米国科学アカデミー紀要<多数>	英ケンブリッジ大学	英オックスフォード大学	26			セル	米コロンビア大学	米ジョンズ・ホプキンス大学
4	●	フィジカル・レビュー・レターズ<5回>			27	●		米国化学会誌		米カリフォルニア大学バークレー校
5	●	ネイチャー<2回> 米国科学アカデミー紀要 フィジカル・レビュー・レターズ<3回>	米イリノイ大学	米イリノイ大学	28			ネイチャー<2回> 米国科学アカデミー紀要<3回>		
6	●	米国物理学協会スティーブン・チュウ賞	フィジカル・レビュー・レターズ<2回>	米カリフォルニア大学バークレー校 米カーネギーメロン大学	29		紫綬褒章、エドウィン・グラント・コンクリン・メダル(米国発生物学会)	ネイチャー<5回> サイエンス<2回> 米国科学アカデミー紀要<3回>	京都大学	東京大学
7		セル<3回>	米カリフォルニア工科大学		30	●	日本遺伝学会奨励賞	ネイチャー サイエンス 米国科学アカデミー紀要		京都大学
8	日本学術振興会賞 塚原伸晃記念賞(ブレインサイエンス振興財団)	ネイチャー<2回> サイエンス	米カリフォルニア大学サンディエゴ校	東京大学	31	●		ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ<11回>	米ウイスコンシン大学マディソン校	
9	●	ネイチャー	米ミシガン大学	米テキサス大学	32		日本加速器学会奨励賞、自由電子レーザー国際会議賞(FEL賞)	ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ		
10		ネイチャー<2回> 米国科学アカデミー紀要<2回> フィジカル・レビュー・レターズ<9回>	米イリノイ大学、ブラウン大学、	米ブラウン大学	33	●	ジョン・マクニール賞		スイス・チューリッヒ工科大学 豪メルボルン大学	スイス・チューリッヒ工科大学
11		ネイチャー	英ロンドン大学 英エディンバラ大学		34		レタス外賞(瑞・王立科学アカデミー) アレクス・メダル(瑞・化学協会)	ネイチャー セル<3回> 米国科学アカデミー紀要<5回>	瑞・カロリンスカ研究所	
12	西宮・湯川記念賞受賞	フィジカル・レビュー・レターズ<2回>	東京大学、京都大学	東京大学	35	●		ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ		
13	●	ネイチャー<2回>			36		ベルツ賞	ネイチャー<3回> サイエンス<4回>	東京大学、京都大学	
14	●	ネイチャー	東京大学		37		日本女性科学者の会奨励賞 有機合成化学協会関西支部賞	米国科学アカデミー紀要<2回> 米国化学会誌<11回>	京都大学	京都大学
15	プリ・アルス・エレトロニカ、ネイチャー・メンター賞	ネイチャー<3回> セル	東京大学 米カーネギーメロン大学	京都大学	38		朝日賞、日本学士院賞恩賜賞 ベンジャミン・フランクリン・メダル、文化功労者	ネイチャー<3回> サイエンス<3回> フィジカル・レビュー・レターズ<9回>		
16	●	フィジカル・レビュー・レターズ<4回>		米ブラウン大学	39		ニュージーランド王立協会会員			
17	●	米国科学アカデミー紀要<2回>	米プリンストン大学		40			ネイチャー<2回> セル<5回>	米ハーバード大学 米カリフォルニア大学バークレー校	米カリフォルニア大学ロサンゼルス校
18	●	ネイチャー<3回> セル	英ケンブリッジ大学 米エール大学	英ロンドン大学	41		バキンス・ワトソン賞	ネイチャー セル<2回>		
19	●	ジョン・ブッチャー賞(数値解析)	ネイチャー	スイス・チューリッヒ工科大学	42	●		米国科学アカデミー紀要	米ハーバード大学	
20		ネイチャー 米国科学アカデミー紀要<4回>		東京大学	43		朝日賞、高松宮妃癌研究基金学術助成受賞	ネイチャー<6回> サイエンス 米国科学アカデミー紀要<12回> セル<7回>	東京大学	
21		米国科学アカデミー紀要<2回> セル<4回>	東京大学	東京大学	44		紫綬褒章、日本学士院賞・恩賜賞 文化功労賞、文化勲章	ネイチャー<9回> サイエンス セル<18回> 米国科学アカデミー紀要	京都大学	東京大学
22	●	ジョージ・アイクハート賞(国際社会性昆虫学会)	米国科学アカデミー紀要<2回>	米テキサス大学	45	●		ネイチャー	米デューク大学	
23		ネイチャー フィジカル・レビュー・レターズ<5回>	米プリンストン大学	英ケンブリッジ大学、 米カリフォルニア工科大学						

(注)

※1 若手研究者:45歳以下の研究者

※2 国内外の権威ある賞の受賞:ノーベル生理学・医学賞、ベンジャミン・フランクリン・メダル、文化勲章等

※3 最高峰の学術誌:世界最高峰の総合誌(「ネイチャー」、「サイエンス」及び「米国科学アカデミー紀要」と、各分野で最高峰の雑誌(生物:「セル」、物理:「フィジカル・レビュー・レターズ」、化学:「米国化学会誌」)を挙げた。

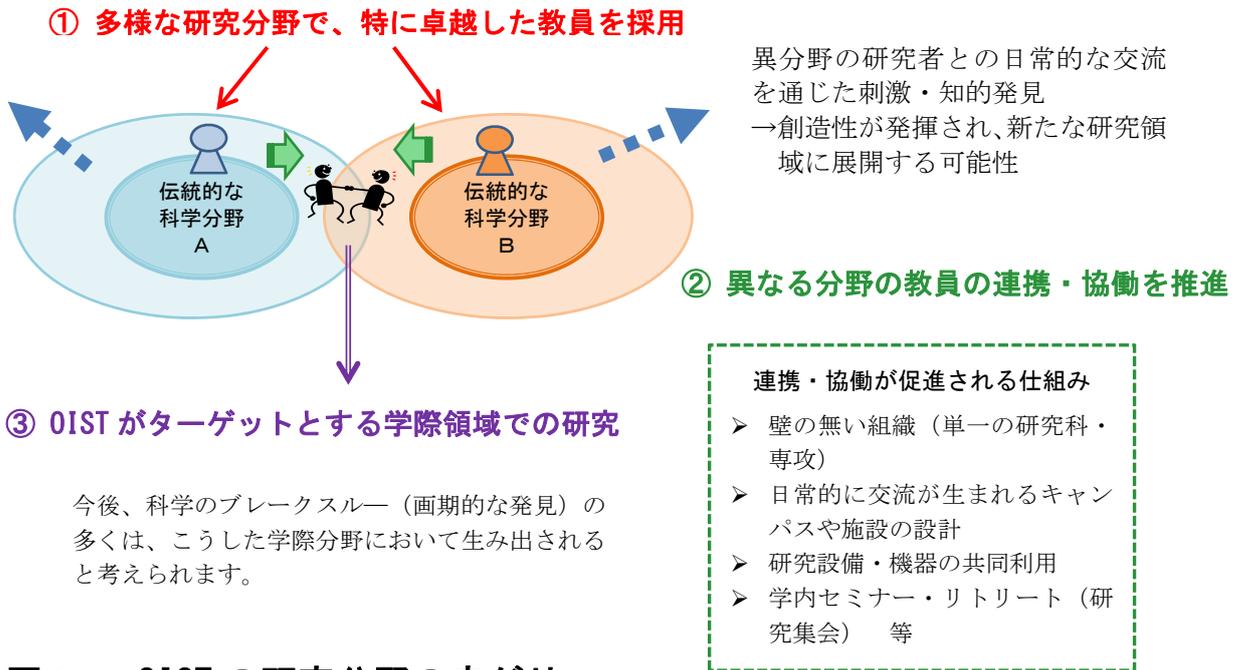
※4 世界大学ランキング:タイムズ社(英)、上海交通大学又はライデン大学による世界大学ランキングで50位以内の大学とした。

## 【参考 2】 OIST の研究活動の特徴

○学部の壁を設けない単一の組織の中で、生命科学分野（神経科学、分子・細胞・発生生物学等）から、物理科学分野（計算物理学、流体力学、ナノサイエンス等）まで、幅広い分野の教授陣が共に研究活動を展開。

○OIST の学際性は、一定の範囲内に留まるものではなく、その幅の広さは世界的にも群を抜いている（図 2 参照）。

### 図 1 : OIST の学際的研究推進のイメージ



### 図 2 : OIST の研究分野の広がり

